

# 【無農薬有機栽培の米作り勉強会】

低コスト・高品質・多収穫を目指したら、  
秋処理、有機、無農薬の稲作になった。

何となく不作は、天候のせい？

不作の原因は天候にもあるでしょうが、田んぼにもあるのでは。平成5年東北の大冷害時にも、根張りの良い有機の田んぼでは、普通に穫れていました。

ウンカが来たき、何ともならん？

「殺虫剤を3回撒いたけど効かんで諦めた。」という人の近くの無農薬の田んぼではウンカの被害が出ないという田んぼもありました。南方で農薬耐性をつけて飛来するウンカには、殺虫剤よりも田んぼの生物多様性が良く効くようです。

化成、農薬なしで収量上がるかや？  
上がっています。実績があります。まずは講師の西田さんの話を聞いてみて下さい。

私も稲作農家です。

JAに勤めながらBLOFの考え方による稲作を組合員に広めています

参加費  
無料！

駐車場有ります。

● 日時 1月24日(金)  
13:30~16:30

● 場所 自由民権記念館 研修室  
(高知県高知市棧橋通4丁目14-3 TEL: 088-831-3336)



今年も高知の米作りは、質、量ともに不作でした。原因を誰に聞いても「天候のせいだろう。」という返事。地球温暖化で、異常気象が普通になり始めた昨今です。長年やってきた自分のやり方を、チョットだけ客観視してみませんか。

「天候不順に左右されにくい米作り」、「病害虫に強い米作り」、そして「低コスト・高品質・多収穫の米作り」へのヒントが、きっと見つかるはずです。

## 【主催】

有限会社 高生連 (代表: 星川茂博)  
南国市双葉台 15 番 1 TEL088-855-8850

## 【講師の紹介】

西田聖さん (JA 東とくしま職員、農業)  
JA 内に特栽米生産部会を作り、無農薬や減農薬栽培の稲作普及に努め、確かな成果を上げてこられている。その米の多くは、コープ自然派に「ツルを呼ぶお米 無農薬米・減農薬米」として出荷されている